

地域における琉球銀行

地域とともに

社会貢献活動を展開

琉球銀行は、社会活動も地域金融機関にとっての重要な役割と考え、各地域での清掃活動や諸行事への参加、福祉や環境保全への助成など、さまざまな活動に取り組んでいます。

また、公益信託代理店として、社会福祉活動に関わる法人および団体を助成する「宇流麻福祉基金」、「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の運営に携わっています。

「りゅうぎん子どもお金教室」

琉球銀行では、県内の小学生に対する金銭教育を目的として、夏休み期間中に小学校高学年の生徒を対象に「りゅうぎん子どもお金教室」を開催しています。経済の仕組みやお金流れ、銀行の仕組みを楽しいゲームなどを通して適切な金融知識を学ぶもので、参加児童、父母から好評を得ており、継続的なCSR活動の一つとして位置付けています。



お金についての話を熱心に聞く生徒たち



幻想的なステージ

沖縄県社会福祉協議会へ
コンサートチケット1,500枚を贈呈



「りゅうぎんふれあいコンサート」

琉球銀行では、平成10年からオペラや演劇などさまざま文化事業をとおした、社会福祉、地域貢献活動として、「りゅうぎんふれあいコンサート」を開催しています。同コンサートにはこうした公演に触れる機会の少ない障害のある皆様に積極的に招待してきました。平成17年度も、コミュニケーションアート2006「Key」のチケット1,500枚を県内の小規模作業所や老人福祉施設へ贈呈しました。これまでのふれあいコンサートへの招待人数は、今回を含めて6,760名となりました。

「りゅうぎんユイマール助成会」

琉球銀行では、役職員による募金と同額の銀行からの寄付金を基金とする「ユイマール助成会」を運営し、地域の福祉活動や環境保全活動を支援しています。平成17年度には、「全国心臓病の子供を守る会」沖縄大会、「歳末たすけあい募金」、県内の小規模作業所5団体などへの寄付や小規模作業所の自立支援を目指すイベント「りゅうぎんナイスハートバザール」を開催しました。また、自然災害により甚大な被害のあった、「パキスタン地震」へ義援金を贈呈しました。その結果、平成18年3月には、設立からの助成実績が1億円を超えました。



「おきなわ工房」「なは倶楽部」の皆様と大城頭取（中央）

「りゅうぎんユイマール助成会」は、1993年(平成5年)に琉球銀行の創立45周年を記念して設立した基金です。毎年、役職員に募金を募り、さらに募金と同額を銀行が寄付することで基金を造成します。例えば、役職員から1千万円の募金が集まった場合、銀行も1千万円を拠出し、合計2千万円を助成会の活動原資とする仕組みです。りゅうぎんユイマール助成会では、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、設立からの助成実績は、240件、10,254万円となりました。(平成18年7月現在)

公益信託による社会貢献（公益信託契約代理店業務）

琉球銀行は、公益信託契約代理店として、社会福祉活動に関わる法人および団体を助成する「宇流麻福祉基金」「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の運営に携わっています。

「宇流麻福祉基金」は、源河朝明氏より委託を受けた公益信託として、平成8年12月に設立され、沖縄県内で社会福祉活動をしている法人および団体に対する助成を目的としています。

「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」は、平成10年11月に設立され、那覇市を中心に県内の社会福祉に関わる活動をしている法人および団体に対する助成を目的としています。



第11回宇流麻福祉基金の助成団体の皆様と大城頭取（2列目左）

「宇流麻福祉基金」

（助成実績72件、2,955万円 平成18年7月1日現在）

「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」

（助成実績76件、3,917万円 平成18年7月1日現在）



第14回りゅうぎん紅型デザイン公募展表彰式

展示会で実施されている
紅型体験教室

りゅうぎん紅型デザイン公募展

沖縄県の伝統工芸の一つである紅型の振興と若手工芸家の育成ならびに紅型デザインの新しい領域追求していくことを目的に、「りゅうぎん紅型デザイン公募展」を毎年開催しています。応募作品は展示会で発表するとともに、入賞作品については当行のカレンダーや通帳、広報物などに広く活用しています。

環境保全団体への寄付

琉球銀行では、平成17年7月から9月まで、環境保全を支援するりゅうぎんエコ定期キャンペーンを実施しました。期間中、6,020件、155億円のお申し込みがあり、県民の自然環境保護に対する関心の高さがうかがえました。

キャンペーンでは、懸賞金の一部をエコ支援金として、環境保全活動を展開している団体の活動支援に充てました。今回は、ヤンバルクイナの保護活動を展開しているNPO法人どうぶつたちの病院、県内の小学生を中心に環境学習を実践しているグループエコライフに、それぞれ100万円を贈呈しました。

支援金は、ヤンバルクイナ保護に関する国際ワークショップ(平成18年1月)の開催費やグループエコライフが整備中の環境学習センター「エコステーション」の運営資金として活用されました。



「NPO法人 どうぶつたちの病院」へ国際ワークショップ開催の運営資金を贈呈



「グループエコライフ」へエコステーションの運営資金を贈呈